

令和5年度 第1回人吉市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時：令和5年7月25日（火） 午前10時30～午前11時00分

場所：人吉市役所3階 庁議室（Web会議併用）

出席者：別紙名簿のとおり

結果：すべて承認

各議事における要旨は以下のとおり

1 議事

（1）議事1 令和4年度事業報告について

（2）議事2 令和4年度決算報告及び監査報告について

〔一括審議〕

監査報告 山口委員（監査委員）

質問・意見等 なし

《1号議案・2号議案 承認》

（3）議事3 令和5年度事業計画（案）について

（4）議事4 令和5年度予算（案）について

〔一括審議〕

質問・意見等 なし

《3号議案・4号議案 承認》

〔全体を通したご意見等〕

（熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科 橋本准教授）

コロナも5類になり、くま川鉄道も復旧の形が見えてきたけれども、一方で、まだ見えていないところもある中で、今年度の事業計画の中にあるじゅぐりっと号のサービス強化というところが、高速バスとの連携が外部との唯一の手段でもありますので、そこは迅速にやる必要があるのかなと思います。

こういった計画に基づいて決定すると、なかなか変更が難しいところでございますが、高速バスのダイヤは割と頻繁に変更があるので、そういったところの中に迅速に対応すべきところがあるかと思っていますので、令和5年度は事業を進めていく中でも、優先的にやっていくことが必要と思っています。

（事務局）

ご意見いただいたとおり、じゅぐりっと号も、柔軟に対応しないといけないと考えております。ご意見のとおり、高速バスからのお客様は重要になってくると思いますので、協議会で協議させていただき、事務局内でもできる限りラストワンマイルの部分について強化できるように計画させていただきたいと考えております。

（大分大学 大井教授）

昨年の会議にほとんど出席できなかったと思います。会議に出席できず申し訳ありませ

んでした。もう少し出席してご意見させていただき、計画策定させていただきたかったの
で、今後は日程調整など少し御協力、ご配慮いただければと思います。

今年、法改正もありました。いわゆる地域交通法ですが、活性化再生法といわずに今年
から地域交通法というのですが、国の方針も変更がありましたので、協議会の役割がす
ごく重要視されています。

あるいは出席されているいろんな主体と連携して、物事を進めていくことが非常に重要
視されています。

協議会が、報告事項や協議事項があるときだけ開催するのではなく、まめに地域交通の
現状を報告いただいて、情報交換をしていただき、そのメンバーの中で共有していただく。
これから、計画について毎年 PDCA をやらないといけないので、そのためにはかなり必要に
なってきます。別に交通事業者の皆さんからもぜひ、いろんな取り組みなど、現状をご報
告いただきたい。

一つお願いですけれども、計画を 1 個前に進めるために、ある程度の回数と積極的に議論
を進めていくということが必要になりますので、そういった視点でお願いしたい。計画が
できると協議会が形骸化するケースが多いです。回数が急に減ってしまい、全然議論しな
くなったりということを、あちこちで見えていますので、そういったことがないように、そ
れぞれもお願いできればと思っています。

(会長)

昨年まではコロナ禍の関係もあって、なかなか対面での協議ができなかったところもご
ざいますけれども、昨年度、公共交通計画を策定いたしまして、具体的な事業も実施する
ところがございますので、各関係機関の課題を共有し合いながら、本市に合った公共交
通網の再構築はやっていかなければならないと思っています。非常に活発に、そこだけは
展開をしていきたいというふうに思っております。

(熊本運輸支局 田村首席運輸企画専門官)

1 点、今後のコミュニティ交通の充実ということで、交通空白地への新たなコミュニ
ティ交通の導入とありますが、こちらは既存のコミュニティ交通の活用も含めて検討されて
いるということで、運送関係は、国土交通省の許可を受けた運送業者による運行が大前提
ということで、検討していただいて、今後進めるにあたって地域の運送事業者と情報共有
を図りながら、風通し良くしていただいて進めていただければと思っています。

(事務局)

先ほど説明しましたとおり人吉 IC や人吉駅、人吉医療センターなど利用者が多く見込
まれる場所で、拠点として位置づけられているところの案内等の強化を行っていきたく
と考えております。地域の事業者の皆様には、今後ともご協力お願いします。

(審議後)

2 その他

人吉市地域公共交通活性化協議会と人吉市地域公共交通会議の統合について

(事務局)

現在の状況についてご説明させていただきます。

人吉市におきましては、平成 22 年 4 月に道路輸送法に基づく、行政・運行事業者・市民

等の１８名で構成されております、人吉市地域公共交通会議の設置をしております。

加えて、平成２７年１２月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく、行政・運行事業者・市民等の２３名で構成されております、人吉市地域公共交通活性化協議会の設置をしている状況でございます。これが現在の状況の説明になります。

続きまして、ご提案させていただきます内容については、先ほど説明させていただきました、人吉市地域公共交通会議と人吉市地域公共交通活性化協議会の統合をできないかというふうに考えております。統合の理由としましては、３点ございます。

一つ目は、目的が異なりますが、いずれも地域公共交通に関して協議する組織であるということ。

二つ目に、法定協議会の委員のほぼ全員が、交通会議の委員であり、委員が重複をしているということ。

三つ目に、統合することにより、構成メンバーの負担軽減及び効率的な運営ができるということでございます。

この３点の理由に加えまして、国土交通省からも地域公共交通分野にかかる各種協議会等を活性化協議会に一元化するということが可能というところで通知をされております。

また、熊本県内では、１７の市町村で一元化が行われている状況でございます。

統合の手法についてですけれども、どちらの会議を主とするかによって変わってきますけれども、現行の人吉市地域公共交通会議の条例、もしくは人吉市地域公共交通活性化協議会設置規程の各会議の所掌事務を、踏襲しながら新たに追加するような形で考えております。

資料の一番下に、イメージ図を掲載しております。

統合した場合の構成メンバーの案について説明します。

赤い下線で引いておりますところが、重複する方々でございます。その下に構成メンバーの案の掲載をしております。

この統合についてのスケジュールに関しては、今年の１２月までに人吉市公共交通会議も開催しながら、どのような形で統合するかという方向性を決定し、来年３月までに新しい会議体を決定したいと考えております。

この二つの会議体を一つの会議体にした場合に、お伝えしたメリットもございますけれども、デメリットもございます。会議体が大きくなりますので、皆様が集まって審議した場合に、全然関係のない内容についても、ご説明、審議いただくことになります。そのデメリットを解消するためにも、組織としては、大きな協議体の下部組織として、分科会のようなものを、交通会議の分科会となるのか、活性化協議会の分科会になるかは、今後の方針次第になりますが、そういった形で分科会を設けることで、まず関係者だけで集まって協議をして、それを大きな会議体で決定の方向性を出すという形もとれることとなりますので、そのような会議体の組織にさせていただければと考えております。

質問・意見等 なし